

ジェットスター航空、刷新したボーイング 787 型機を初就航 ～機内 Wi-Fi を初めて導入、ビジネスクラスの座席数は倍増～



改修された機材ジェットスター ボーイング 787-8 型機(撮影:メルボルン・タラマリン空港にて)

ジェットスター航空(本社:オーストラリア・メルボルン、CEO:ステファニー・タリー、以下「ジェットスター」)は 4 月 7 日(火)、キャビン(客室)の内装を刷新したボーイング 787 型機(ドリームライナー)を初めて就航しました。初便となった JQ17 便(定刻:メルボルン 14:50 発 プーケット 20:40 着)はほぼ満席のお客さまに、新仕様のキャビンとジェットスター保有のボーイング 787 型機として初となる機内 Wi-Fi サービスをお楽しみいただきました。

今回就航した機体は、数百万豪ドル規模の大規模なキャビン改修を終え、4 月 2 日(木)に香港からメルボルンに到着しました。ジェットスターのボーイング 787 型機の改修は、当社として過去最大規模となります。

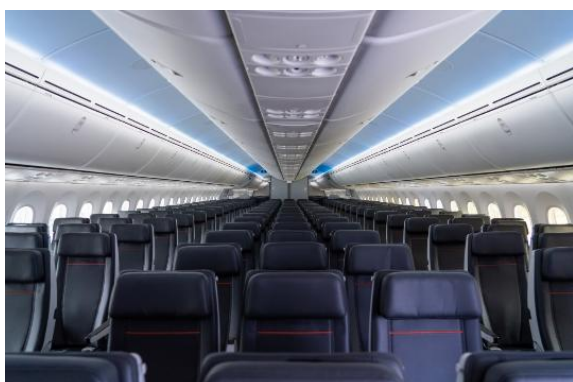
今回、ビジネスクラスおよびエコノミークラスの両クラスを改修しました。新しい座席の導入に加え、機内 Wi-Fi を搭載したほか、クルーレストスペースの拡充により最長 16 時間の長距離運航が可能となります。今後順次、当社が保有する残り 10 機のボーイング 787 型機の改修作業を進め、全保有機材の刷新は 2027 年後半まで継続する予定です。

ビジネス・エコノミー両クラスを全面刷新



ビジネスクラス

ビジネスクラスは、従来の 21 席から 44 席へと倍増しました。シートピッチは 38 インチ、リクライニング角は 7 インチで、6 段階調整可能なヘッドレスト、改良されたクッション、レッグレストおよびフットレストを備えます。さらに、折り畳み式のインアーム・トレイテーブル、モバイル端末ホルダー、USB ポート(タイプ C:2 口)を装備しました。



エコノミークラス

エコノミークラスには、RECARO 製の新型シートを採用しました。シートピッチは 30 インチ、リクライニング角は 5 インチとし、当社のエアバス A320neo および A321LR 型機と比べて快適性がさらに向上しました。ヘッドレストは 6 段階調整可能で、クッション性の向上、モバイル端末ホルダー、USB ポート(タイプ C:2 口)を搭載します。座席数は、従来の 314 席から 281 席に変更となります。

ジェットスター ボーイング 787 型機で初の機内 Wi-Fi

ジェットスターのボーイング 787 型機で初となる機内 Wi-Fi サービスを導入しました。衛星通信を活用した高速通信で、カンタス航空機でも採用されている Viasat と提携。動画ストリーミング、メッセージ送受信、ウェブ閲覧などが可能となります。ビジネスクラスでは、無制限で利用できる「ストリーミングプラス」を無料提供し、エコノミークラスでは以下の有料プランを用意しました。

- ストリーミングプラス: ストリーミング、ブラウジング、機内エンターテインメントへのアクセスや無制限データ通信
- ソーシャルプラス: ソーシャルメディアへのアクセス、ブラウジング、機内エンターテインメントへのアクセスやデータ通信

なお、これまで各座席に設置していた座席背部備え付けのスクリーンを廃止し、お客さまご自身の端末やヘッドセットまたはイヤフォンを使用してコンテンツを視聴する方式に変更しました。

クルーレストスペースを新設、航続距離を拡大

機体後方には、横になって休憩できる 6 台のクルーレスト用ベッドを新設しました。これにより、長時間運航に必要な乗務員の休息が確保され、最大 16 時間のフライトが可能となります。ジェットスターは現在、東京（成田）、大阪（関西）、シンガポール、ソウル、プーケット、バンコク、ホーチミンなどアジア各地へボーイング 787 型機で運航しています。今後、就航予定のスリランカ・コロンボを含め、国際線ネットワークのさらなる拡充を見込んでいます。

ビジネスクラス入札制アップグレードを導入

このたびの機材改修に合わせて、ジェットスターは入札形式によるビジネスクラス・アップグレードサービスを導入しました。今後は、カンタス・フリークエントフライヤー会員を対象に、カンタスポイントを利用した入札制度も開始予定で、「クラシック・アップグレードリワード」形式や、ポイントと現金を組み合わせる方式を導入する予定です。ビジネスクラス座席数の増加により、アップグレードの機会も広がります。ビジネスクラス入札に関する詳細は、[ウェブサイト](#)をご覧ください。

ジェットスターグループ CEO のステファニー・タリーは次のように述べました。

「このたび改修したボーイング 787 型機の就航は、当社にとって重要なマイルストーンの 1 つです。快適性、接続性、そして今後拡大する就航地を含む価値をお客さまに提供します。最長 16 時間の運航が可能となり、より多くの国際路線を低運賃で提供できる体制が整いました。残り 10 機の同型機の改修作業も進め、引き続きお客さまに安全かつ気軽に楽しい空の旅を提供してまいります」

（ご参考）

[Boeing 787 型機\(ドリームライナー\)の機材リニューアルについて | ジェットスター](#)

ジェットスター航空について

カンタスグループの 100%子会社であるジェットスター航空は、同グループの「2 ブランド戦略」において重要な役割を担い、レジャーおよびバリュー重視のお客さまを中心にサービスを提供しています。オーストラリアおよびニュージーランドを拠点として、100 機以上保有しています。ジェットスター航空は、2004 年 5 月にオーストラリア国内で LCC 事業を開始して以来、多くのお客さまにご利用いただきました。現在、太平洋地域における 40 以上の就航地に乗り入れ、115 路線以上を運航しています。オーストラリア国内線の市場シェアは、航空会社として第 3 位、オーストラリア発着の国際線においては提供座席数ベースで上位 5 社に入る規模となります。ジェットスターはカンタス航空と連携し、オーストラリアの航空会社として最大の運航便数を提供しています。